

保険診療での不妊治療について（2022年4月開始 2024年6月改定）

保険適用費用（患者様負担額：3割）

2022年4月より不妊治療の保険診療が開始されました。費用に関しましては下記の通りになります。保険適用には年齢に応じた移植の回数制限があります。

希望される治療方法によっては保険適用にならない場合もございますので、ご注意ください。

■ タイミング療法・人工授精

一般不妊治療加算	750 円	3 か月に 1 回
人工授精	5,460 円	時間外、日曜祝日に実施した場合 選定療養費として 11,000 円(税込)が 加算されます。

上記の費用以外に下記の費用がかかります。（目安です）

排卵誘発剤（実費、保険適用）	約 1,000～10,000 円
超音波検査、ホルモン検査（保険適用）	1 回約 1,800～4,000 円（1 周期 3 回程度）

■ 男性不妊の手術（精巣内精子採取術）

1 単純なもの	37,200 円	※入院費や麻酔の費用は別途かかります。 合計 10 万円～15 万円ほどになります。
2 顕微鏡を用いたもの	73,800 円	★凍結できた場合、精子凍結保存管理料 として 4,500 円加算

■ 高度生殖補助医療（採卵、体外受精、顕微授精）（表記は 3 割負担の金額です）

生殖補助医療管理料	900 円	体外受精周期毎
採卵時 預かり金	100,000 円	採卵当日預り金をさせていただきます。 清算は移植時、全胚凍結説明時、治療 中止時に返金もしくは追加で支払いが 必要になる場合もあります。
採卵基本料	9,600 円	※採卵した個数によって費用が決定 ※麻酔の費用は別途かかります。（保険）
採卵数 1 個	7,200 円(合計 16,800 円)	
採卵数 2～5 個	10,800 円(合計 20,400 円)	
採卵数 6～9 個	16,500 円(合計 26,100 円)	
採卵数 10 個以上	21,600 円(合計 31,200 円)	



受精法		個数にかかわらず一律 ※新鮮精子を使用した場合、新鮮精子加算(3,000円)が加算されます
体外受精(IVF)	9,600円	
顕微授精(ICSI)		顕微授精の加算費用 ()内は、顕微授精をする個数 ※手術で採取した凍結精子使用の場合は15,000円加算されます ※新鮮精子を使用した場合、新鮮精子加算(3,000円)が加算されます
顕微授精(1個)	11,400円	
顕微授精(2~5個)	17,400円	
顕微授精(6~9個)	27,000円	
顕微授精(10個以上)	35,400円	
体外受精・顕微授精 両方実施した場合	顕微授精代+体外受精費用 の半分(4,800円)	
受精卵培養		採卵翌日から受精した個数ごとに算定
培養個数1個	13,500円	
培養個数2~5個	18,000円	
培養個数6~9個	25,200円	
培養個数10個以上	31,500円	
胚盤胞加算(胚盤胞培養個数)		上段の受精卵培養個数と同じ数 となります。
1個	4,500円	
2~5個	6,000円	
6~9個	7,500円	
10個以上	9,000円	
胚移植		
新鮮胚移植	22,500円	採卵と同じ周期に移植する方法
凍結胚移植	36,000円	凍結していた胚を融解して移植する方法
時間外に胚移植を実施した場合、選定療養費として27,500円(税込)が加算されます。		
アシステッドハッチング加算	3,000円	移植時に施行した場合に移植費用に 加算されます
高濃度ヒアルロン酸含有 培養液加算	3,000円	
胚凍結保存		胚凍結保存期限更新も保険診療で可能 ですが、ご夫婦での来院と治療計画の 作成が必要になります。来院ができない 場合には保存期限の更新は自費診療と なります。保険での更新の場合、10,500 円(3割負担)となります。
凍結個数1個	15,000円	
凍結個数2~5個	21,000円	
凍結個数6~9個	30,600円	
凍結個数10個以上	39,000円	

上記の費用以外に下記の費用がかかります。(目安です)

排卵誘発剤(実費、保険適用) 約10,000~20,000円

超音波検査、ホルモン検査(保険適用) 1回約1,800~4,000円(1周期3回程度)